

令和 5年度 ( 4年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	839-2865
	基本事業	動物愛護の推進		事業実施主体	市
	事務事業	犬猫一時保管施設整備事業		事業期間	~令和 5年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
 犬・猫の殺処分が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の一時保管施設を早急に整備し、犬・猫の殺処分率の減少に取り組む。

**5年度概要**  
 犬・猫の殺処分が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の一時保管施設を早急に整備し、犬・猫の殺処分の減少に取り組む。

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センターでの譲渡事業につなげ、殺処分率を減らすために、収容した犬猫の一時保管施設を早急に整備する。また、これら事業を着実に実施することにより、動物の命の大切さを尊重し、理解し合う「人と動物の調和のとれた共生社会」の実現に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
返還・譲渡数	頭			232	246	246

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
殺処分率	%	目標値			52	50	50
		実績値			53.5		
<b>成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)</b> 野良犬の増加や不適切飼育等により犬猫の引取り数が増え、返還数は増えたものの、愛護センターでの譲渡数は減ったため、殺処分率が増加した。 (目標達成度)			(達成度)	97.1%			
							33点
<b>成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)</b> (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]			32,785	136,468
(事業費)	[円]			23,804	127,487
(職員人件費)	[円]			8,981	8,981

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

一時保管施設整備地における廃棄物の状況等を調査するとともに、確認された産業廃棄物等については、適正に処分を行っている。また、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センターを中心に犬猫を積極的に譲渡し、市民への動物愛護や適正飼育の啓発を推進したが、昨年度に比べ、野良犬猫の増加や不適切飼育により犬猫の引取り数が増加し、愛護センターでの譲渡数も減ったため、殺処分率が増加した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

犬や猫の殺処分率が全国の中でも多い本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため早急に一時保管施設を整備するとともに、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センターを中心に、動物愛護の精神の普及啓発に力を入れ、返還・譲渡をさらに推進する。